



【めざす学校像】5つの気がみなぎる学校
 ~魅せる北小魂! PROUD2019~新しい時代を切り拓く先駆者となれ

令和元年に15年先を想う

校長 残間 利博

令和の時代の幕開けは、時折薄日の差す穏やかな日となりました。今年には新天皇即位の関係で10連休となったGW。特に新1年生にとっては、新しい環境下での3週間は長く感じたかも知れません。1年生に限らず、年度当初は新たなものを構築することにエネルギーを使います。この休みを有効に使って疲れをとり、風薫る5月に良い再スタートを期待します。

さて、今年4月下旬に、6年生全員と個人面談をしました。面談の意図は、学校をしょって立つ最高学年の子どもたちが、どういう思い(決意)をもっているのかを知りたかったからです。一人5分という限られた時間でしたので、事前に30秒で自己紹介ができるようにと話をしておきました。面談当日。最初は、緊張からか声が震えがちな子も少なくありませんでしたが、話が進むにつれ緊張感がほぐれたのか、普段の様子に近い姿が見られるようになりました。自己紹介の内容から話を切り出す形で進行しましたが、必ず全員に聞いたのは「自分の良いところ・直したいところ」です。良いところは「他人に優しくできる」を挙げた子が多くいました。直したいところは千差万別です。例を挙げれば「短気」「続かない」「嘘をつく」「諦めやすい」「言葉づかい」「ゲームのし過ぎ」等々。大事なことは、自分自身を客観的に見つめることのできる目をもっていることです。自分とはいかなる人物であるか、そして、集団の中でその自分を活かすために「自分には何が期待されているのか」「自分には何ができるのか、どうありたい・あるべきなのか」を模索・実行できる6年生になってほしいと私は願います。

話は変わります。約260年間続いた江戸時代。18世紀には江戸の町の人口が140万人に達し、当時としては世界最大の都市でした。当然人口密度も高く、人々が折り合いをつけながらよりよく生きるために、江戸商人のリーダーたちが築き上げたルールがあったとされています。それが、『江戸しぐさ』と呼ばれるものでした(※諸説有り)。その教えの1つに『三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二文、十五理で未決まる』というものがあります。十二文とは、12歳になったら、店の主に代わって注文書や請求書、苦情処理書を書けるだけの力を身につけることが大切とされ、もし主に不幸があれば、主に代わって店を切り盛りすることができるよう鍛えられたとされています。つまり、12歳(今の小6)は「一人前の人間として自立できる」ことが求められていた時代ということができそうです。

閑話休題、新たに始まった令和の時代には一体どんな人間像が求められるのでしょうか。英オックスフォード大学でAI(人工知能)などの研究を行うオズボーン准教授の論文「雇用の未来」によると、今後15年程度で現在の約47%の仕事がAIに取って代わられる可能性が高いとされています。だとすれば、これからの時代に求められるのは「時代の変化を的確に読み取り、柔軟に自分を変化させ、対応していく力」ではないでしょうか。そのためには、家庭・地域で多様な生活体験を重ね、学校で「ものの考え方・判断のしかた」を学ぶことが大切になります。一人一人の子どもに確かな学力を身につけさせる令和の始まりです。



日	曜日	予定
1	水	天皇の即位の日
2	木	国民の休日
3	金	憲法記念日 GW
4	土	みどりの日
5	日	こどもの日
6	月	振替休日
7	火	全校朝会
8	水	内科検診1年, 3-1
9	木	歯科健診6年
10	金	脊柱側弯検査5年
11	土	
12	日	
13	月	歯科健診5年
14	火	
15	水	避難訓練
16	木	眼科検診1年
17	金	学習参観, PTA総会 学校教育説明会, 学級懇談会
18	土	
19	日	
20	月	4時間授業
21	火	心臓検査1年
22	水	プール清掃, 内科検診2年, 3-2
23	木	5時間授業
24	金	1・2年遠足
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	校内硬筆競書会
31	金	草取りタイム

6月の主な行事

- 6/3(月) プール開き
- 6/6(木) 6年陸上記録会
- 6/11(火) 個人面談開始
- 6/29(土) 学期末PTA(土曜参観日)

先生さようなら 今までありがとうございました!



4月19日(金)に離任式が行われました。門井校長先生と奥澤先生は残念ながら所用があるため、欠席でしたが、増村先生、嘉茂先生、栗原先生、光橋先生に出席いただきました。それぞれの先生方に心を込めて書いたお手紙と花束を渡し、先生方から温かな言葉をいただきました。涙を流す児童もいてとても感動的な式になりました。

離任式後は、お世話になった学年とのお別れ会が催されました。ゲームや歌や劇などで楽しく過ごす学年もありました。

お世話になった先生方、今までありがとうございました。新天地での御活躍を北小学校のみなさんが応援しています。

天災は忘れたころにやってくる~引き渡し訓練~



4月25日(木)に災害時等を想定した引き渡し訓練を行いました。

引き渡し訓練では、非常に高い参加率で確実な引取りをしていただきました。羽生市では震度5弱以上の地震が起きた際、児童の安全を確認し、原則引き渡しをするというきまりがあります。上記タイトルにあるように、天災は忘れたころにやってきます。実際に大きな災害が起きてしまった場合も、今回の訓練のように落ち着いて、迅速に対応していただけたらと思います。

